

地域リハビリテーション出前講座の実施結果について

高齢者や障害のある方を含めた全ての方が安心して暮らすことの出来る地域社会の実現に向け、子供の頃から適切な健康感やノーマライゼーションの考え方に対する関心を深めることを目的に地域リハビリテーション出前講座を実施した。

1 講師

地域リハビリテーション広域支援センター又は千葉県リハビリテーション支援センター所属のリハビリテーション専門職

2 実施結果

	圏域 (実施市町村)	対象	内容 (授業数)	リハ・パートナー 協力機関数
1	千葉 (千葉市)	4年生4クラス 122名	車いす体験、高齢者の視覚体験、 足の不自由な人の体験 (4時限※1クラス=1時限)	1施設
2	東葛南部 (船橋市)	4年生3クラス 97名	車いす体験(2時限)	2施設
3		5年生3クラス 110名	車いす体験 (3時限※1クラス=1時限)	3施設
4		6年生4クラス 141名	車いす体験 (4時限※1クラス=1時限)	4施設
5	香取海匝 (香取市)	5年生1クラス 16名	車いす体験(2時限)	1施設
6	山武長生夷隅 (御宿町)	4年生2クラス 41名	車いす体験、高齢者疑似体験、 アイマスク体験、手話体験 (2時限)	—
7	君津 (木更津市)	5年生4クラス 125名	車いす体験、シッティングバレー、 作業療法・言語療法体験 (4時限※2クラス=2時限)	2施設
	計	652名	—	—

3 アンケート結果 (抜粋)

(1) 教員 (回答数: 6)

体験内容・講師の進め方はどうだったか							
よかった	5	だいたいよかった	1	あまりよくなかった	0	よくなかった	0

- ・多くの専門職が講師として来校し、たくさん体験することができた。
- ・事前に打ち合わせができ、共通理解を深めることができた。
- ・本校に応じた場の設定を共に考えてくださり助かりました。

児童の理解は進んだと思うか									
かなり進んだ	4	ある程度進んだ	2	わからない	0	あまり進まなかった	0	変わらない	0

- ・車いすの操作を通して、バリアフリーに関する理解を深められたように感じる。
- ・手話等に関心をもつ児童が増え、調べ学習を意欲的に取り組むことができた。

今後もこのような出前講座があったら申し込みたいと思うか					
思う	6	分からない	0	思わない	0

【要望】

- ・手足が不自由な方が行っているリハビリの器具や方法などがあれば体験してみたい。
- ・子どもたちがお年寄りに対して行えること、行って有効なこと（作業療法の分野でも）などがあればお願いしたい。

【感想】

- ・スタッフの方がたくさん来校し、児童一人一人に細かな助言を与えてくださり、安心して体験することができた。
- ・きめ細やかな計画・指導をしていただき大変ありがたかった。
- ・短い時間でとても内容の濃い体験活動ができ、子ども達にとって学びになりました。
- ・講師の方が準備の仕方から、授業までわかりやすくとてもスムーズに進めてくださった。児童も興味をもって取り組むことができた。

（２）児童の感想

- ・自分が困ったり、周りが困ったりしているとき、どうすれば良いかを教えてくれて、ありがとうございました。
- ・リハビリとリハビリテーションが同じということを知った。
- ・リハビリや介護をしている人は、慣れていても、声をかけて、慎重に押しているからカッコいいなと思った。
- ・体験をとおして、車いすの人や目が不自由な人、足が不自由な人がいることがわかった。大きくなったら、リハビリの係の人になりたいと思った。
- ・車いすをいきなり押しはいけないということが分かった。
- ・車いすは、びみょうなそうさや使い方、命の危険につながるということを知った。
- ・私のおばあちゃんは目の病気を持っているので、こういう風に見えるんだと感じました。
- ・知らない人でも困っていたら、勇気を出して手伝ったり、声をかけたいと思った。
- ・体の不自由な人が困っていたら、何に困っているかを聞いてから手伝うほうがいい。
- ・体験をとおして、困っている人を「助けたい」という気持ちになったけど、自分に例えると、すぐに助けてほしいと思うことが、少ししかないのが難しいと思った。
- ・体や目が不自由な人がどのように暮らしているか分かりました。でも、こういう時どうするのか、分からないことがたくさんあるので、体の不自由な人について、もっと調べてみたい。